

# 網走ほんりゅう組

第411号  
網走教職員組合  
〒090-0836  
北海道北見市東三輪1丁目83-35  
TEL.0157(31)7551  
FAX 0157(31)7559  
7月15日

## 戦争をさせない北海道大集会

### 全道各地から集まって



七月一日、安倍内閣は国民の声を無視し、自分自身が憲法の上に立っているかのようにその解釈を変更し、日本を「戦争する国」へと変化させる集団的自衛権の行使容認を閣議決定しました。



また、連帯の呼びかけました。また、連帯の挨拶として上田札幌市長が登壇、「戦争の方向に進んでくると、思っている『戦争を反対』と言えない雰囲気になる」と述べ、弁護士時代にCDにした憲法九条を歌詞にした「第9ロック」を熱唱、会場を盛り上げました。

その三日前、六月二十八日、好天の中、札幌の大通りには五、五〇〇名の人たちが全道から集まり、日本を「戦争をする国」へと進ませないため、集会そしてデモ行進を行いました。網走教組からは三名、道教組関係四八名、さらには、市民団体、北教組なども参加する大規模な集会となりました。

集会の後には、オーブニングでも行われた和太鼓の演奏に送られデモ行進へと参加。参加者全員でシュプレヒコールや「憲法変えるな、総理を変えろ」とコールをしながら中島公園まで行進しました。みんなの声が一つの大きな声となって街行く人に訴えました。



呼びかけ人である哲学者の高橋哲也さんや作家の兩宮処凛さんが集会で発言し、高橋さんは「何事もなかつたかのように原発を推進したり、はつきりしている沖縄の民意を無視して米軍の基地を移設したり、政治の劣化が甚だしい。安倍政権の勝手な閣議決定による憲法解釈は、戦後史上最大の政治的反則だ」と批判。兩宮さんは「過去の歴史に学んで、未来に生かさなければならぬのに、安倍首相は学ぼうとしない」



今回の閣議決定がされたからといって「もうすべて終わり」「もう後戻りできない」「何をやっても無駄」ということではありません。おかしいよと声を上げるときが、今です。力を合わせて闘っていきましょう。

## 2014年夏の合宿研

日時 8月23・24日  
場所 温根湯温泉ホテル 四季平安の館  
参加費 10000円  
※本部補助2000円あり  
互助会券使用可  
※夕食交流会のみ 6000円  
内容 1日目～学習会  
2日目～木工体験  
集約 7月25日(金)

詳細はちらしをご覧ください。  
沢山の参加をお待ちしております!

## 網走教組はこんな組合

教師であればだれでも、「どの子にもわかるように、少しでもできるように、よりよい学級をつくりたい」と、悩み、苦しみながらも、目の前の子どもたちに真摯に向き合い、日々実践しているのではないのでしょうか。

私たち網走教組では、その日々の実践を交流し合い、学び合うことを大切にしています。一人で迷いながら実践したことも、支部会議やまなびバなどで話し合い、学び合うことで、励まされ次へのエネルギーになっていきます。そんな活動を大切に、がんばっているのが網走教組です。

## まなびバ

七月五日、北見西小学校で「第三七回オホーツクまなびバ」が行われました。支部代表者会議の後に行

われたため、午後からの短い時間での開催となりましたが、四本のレポートをもとに、授業の様子や、学級の様子などについて、交流を行いました。今回は、遠軽支部の小林先生が初めて参加してくれました。それぞれのレポートについて、わからないことをどんどん質問し、交流を盛り上げてしてくれました。

七月五日のまなびバに初めて参加しました。この日は、家庭環境にも配慮しながら指導を続ける若狭先生。日記を取り入れた学級経営をしている山本先生。「一あたり量」をしつかりと子どもにイメージさせながら、かけ算指導をしている大坪先生の実践について教えていただきました。

子どもたちに、丁寧に指導をしている三人先生方の話を聞いて、自分あまりにも勉強不足だということを感じ、反省させられることばかりでしたが、今後の指導のヒントをもらうことができ、大変充実した時間になりました。次回のまなびバも、都合をつけてぜひ参加したいと思えます。

小林 杏樹

今回は、参加人数も少なく、時間も短かったのですが、具体的に子どもの様子などを出し合いながら、イメージを共有した、よい話し合いができたのではないかと思います。今回は網走方面での開催を計画しています。ぜひたくさんの方に参加してほしいと思います。